

青少年教育・体験活動 ボランティア養成フォローアップ研修

平成30年6月9（土）～10日（日）

【目的】

自然体験活動の指導者に求められる基本的な知識・技能の習得を通して、「青少年教育・体験活動ボランティア養成研修」を受講した者の資質・能力を高める。

なお、本研修を修了し、認定試験に合格した者は、「自然体験活動指導者」（NEALリーダー）として登録することができる。

【参加者】10名

【プログラムの内容】

1日目

- 10:30 開講式、ガイダンスⅠ
- 11:00 アイスブレイク
- 13:00 講義・演習「自然体験活動の指導」
- 14:45 講義・演習「自然体験活動の技術」
- 19:30 講義「対象者理解」

2日目

- 9:30 講義「自然体験活動の特質」
- 13:45 ガイダンスⅡ
- 14:15 認定試験
- 15:00 閉講式

講義「ガイダンス」



2日間のカリキュラムやNEALについて説明を受けたのち、安心して学べる場を作るために、アイスブレイクをしました。

講義・演習「自然体験活動の指導」



最初に参加者が体験の中から多くの事を学び取れるよう、インストラクターは参加者の状況に応じて様々な関わり方を使い分けていることを学びました。

その後、実際に徳地アドベンチャープログラムを体験し、インストラクターの指導について学びました。



講義・演習「自然体験活動の技術」



「自然体験活動の指導」で学んだ、インストラクターの指導に対し、リーダーとしてどんな関わりができるのかを学び合いました。

講義「対象者理解」



講師の松尾尚子先生にお越しいただき、「心」にスポットを当て、対象者への対応方法を体験的に学びました。

講義「自然体験活動の特質」



講師の小林先生から体験に基づいて、自然体験活動の意義や自然体験活動それぞれが持つ特色や、思考の違いを学びました。またそれらをグループごとでまとめて発表し、お互いが体験の中で知った感覚も違う事を学び合いました。



【参加者の声】

- いろんなことを体験しながら学べたのがよかった。学校で聞いていたことがずっと入ってきた。
- 子どもたちに関わる時に何を基準にしたらいいか悩んでいたの、基準を知ることができてよかった。

【成果と課題】

- 今年度は高校生から社会人まで幅広い年齢層の参加があった。お互いのフィールドの違いを尊重しながらも様々な考え方があることを学んでいた。

課題はやはり参加者数である。NEALに関心を持つ人がある程度資格取得した時期に差し掛かり、新規参加者の獲得が難しくなっている。ボランティア養成講座とセットでの開催は不可欠であるとする。